

平成 23 年 7 月 11 日

報道各位

ガールスカウト東日本大震災被災者支援

これまでの取り組みと今後の展開

2011年3月11日に発生した東日本大震災から4ヶ月が経過しました。永年にわたり青少年教育に取り組んでいるガールスカウトは、そのノウハウと全国の会員の力を生かし、東日本大震災の被災児童・生徒が、生まれ育った地域に誇りを持って成長できるようにするために、子どもたちにさまざまな体験活動の場を提供するなど、“子どもたち”の支援を中心に、数年間にわたり取り組みます。これまでの取り組みと今後の活動予定について、ご報告申し上げます。



活動	実績
緊急物資の支援	靴(2,849足)肌着(3,894枚) テント(190張)防犯ブザー(579個) 【現在取り組み中】 RQ市民災害救援センターの「こどもゆかたプロジェクト」への協力
地域のガールスカウトの取り組み (6月30日時点)	・活動報告件数：295件 ・会員の活動で集めた支援金・義援金（報告件数より） 34,013,791円／244件
支援金の受付 (6月30日時点)	・日本連盟への支援金 23,328,985円／362件 国内から 20,935,678円／342件 国外から 2,393,307円／30件 ※お寄せいただいた寄付金は、ガールスカウトが行う『ガールスカウト東日本大震災被災者支援プロジェクト』の費用にあてます。
ガールスカウト東日本大震災被災者支援プロジェクト	東日本大震災の被災者が、日常の生活を取り戻し、また、日本全体が復興・発展するための一助を担います。 【プロジェクト① いきるちからキャンプ】 日程：平成23年8月14日（日）～16日（火）2泊3日 会場：国立花山青少年自然の家（宮城県栗原市） 内容：・豊かな自然の中でのプログラム ・農業体験と野外料理体験（食育） ・ライフスキルの向上ができるプログラム ・出身県の文化披露 など 【プロジェクト② バッジにチャレンジして防災スキルを高めよう！】 防災の視点で、ガールスカウトの子ども達の技術を養い、人に役立つ少女になれる機会を提供します。

■本件に関するお問い合わせ：(社)ガールスカウト日本連盟 TEL：03-3460-0701

■物資支援（靴・下着）

宮城県在住の一人のガールスカウト会員が、南三陸町への緊急物資として「靴」の募集を呼びかけるラジオ放送を聞いたことがはじまりでした。

ガールスカウト日本連盟は 1994 年～2008 年の 15 年間にわたって世界の難民の子どもたちに平和の小包『ピースパック』を約 25 万個届けており、その内の 1998 年～2007 年はピースパックの中に「靴」を入れていた実績があります。

会員からの情報を受け取ったガールスカウト日本連盟は、さっそくラジオ放送で呼びかけを行っていた南三陸町社会福祉協議会に問い合わせ、「子どもたちの靴が擦り切れている」という現地情報から、これまでの取り組みを生かして「靴」を送ることにしました。また問い合わせの際、ガールスカウトは女性団体であることから、女性が困っていること、女性が必要としている物資は何かを伺ったところ、女性は下着がなくて大変苦勞をされているとのことでした。この、町で唯一つながる電話での情報をもとに、私達は「女性用の肌着（新品）」も集める事にしました。

子ども用・大人用の運動靴と長靴（新品・新品に近いもの）は 500 足、女性用肌着（新品）は 200 枚を目標に、3 月 31 日に全国のガールスカウトへ呼びかけを開始しました。4 月 12 日までの 2 週間で全国のガールスカウトから 2,849 足の靴と、3,894 枚の肌着が集まりました。

ピースパックの経験を生かし、物資の収集や、現地で配りやすいようそれぞれのサイズごとに仕分けるなどして、宮城県南三陸町をはじめ岩手県沿岸部へ贈りました。



■本件に関するお問い合わせ：(社)ガールスカウト日本連盟 TEL：03-3460-0701

■地域のガールスカウトの取り組み

<新潟県第1団>



ネイチャーゲームを楽しむ子どもたち

【日時】

2011年6月4日(土)

【テーマ】

福島県から避難してきた人たちとお友だちになろう

【活動内容】

柏崎市内に避難してこられている小学生とネイチャーゲームを通して交流しました。

【参加者の声】

楽しかった。また一緒に遊びたい。

<青森県第3団>



想いを込めて巾着に物資を入れる少女ら

【日時】

2011年4月8日(金)～6月5日(日)

【テーマ】

スマイリーパックプロジェクト

【活動内容】

岩手県大槌町、宮古市などで被害を受けた地域のガールスカウトから必要物資について情報を貰い、広く物資を収集しました。

【ガールスカウトの声】

私たちの活動により、少しでも笑顔になってほしい。

<新潟県第1団>



募金を呼びかけるガールスカウト

【日時】

2011年5月22日(日)

【テーマ】

東日本大震災の募金活動

【活動内容】

自分たちの思いを確認しあい、『みんなで一緒にがんばろう』という気持ちをこめて街頭募金を行いました。

【募金された方の声】

困っている人たちのためにがんばってね。

地域のガールスカウトの支援活動については、当連盟ホームページ「東日本大震災に関連する情報」内、「全国の支部の活動、メッセージ」をご参照ください。

<ご参照URL> <http://www.girlscout.or.jp/earthquake.html>

■本件に関するお問い合わせ：(社)ガールスカウト日本連盟 TEL：03-3460-0701

■世界のガールスカウトと共に

東日本大震災の被害の大きさに世界中が衝撃を受けました。そのような中、世界各国のガールスカウトの子どもたちは、日本のために募金活動をしたり、被災地の子ども達のために文具や玩具などをリュックに詰めて送るなど、自分にできることを実行に移しています。ガールスカウトのモットーである「そなえよつねに」は、心や身につけた技術を、いつでも他の人々や自分自身のために役立てられるようにすることです。世界のガールスカウトが「そなえよつねに」を胸にきざみ、日本を応援しています。

ガールスカウト世界連盟公式ホームページでは、世界 45 か所のガールガイド・ガールスカウト連盟から 200 件を超えるお見舞いメッセージが寄せられています。

➤ <http://asia.waggsword.org/en/news/20970>

これらは翻訳され、ガールスカウト日本連盟公式ホームページにて公開しています。

➤ <http://www.girlscout.or.jp/earthquake03.html>



私たちはアメリカのコネチカット州レディングというブラウニー団です。壊滅的な被害をもたらした地震と津波が日本を襲って以来、私たちはあなたを思い続けています。

私たちは、先週の土曜日にクッキー販売を行いました。そして、「日本地震資金」で 75 ドルを集めることができました。皆さんが美しい国を再建するように、私たちの考えと祈りが皆さんと共にあります。私たちは、皆さんが立ち直り、すぐ国を再建し始めると信じています。



■本件に関するお問い合わせ：(社) ガールスカウト日本連盟 TEL：03-3460-0701